

平成30年10月12日 第4号

# やはずの風

北九州市立門司総合特別支援学校  
校長 奥田まさ子

## ◇体育大会が行われました

9月29日（土）が台風24号の影響で休校となり、10月4日（木）に体育大会が開催されました。当日は天候不順が心配されたため、午前中の演技となりましたが、児童生徒と先生方の願いが通じたように、雨も風も落ち着き、体育大会を開催することができました。



開校3年目の本年度は、高等部の全学年がそろい、「高め合い、一つとなり、完全燃焼だ」というスローガンのもと、高等部生徒による応援団も結成され、全校で一つになることができました。

そろって入場してくる姿には、練習を積み重ねてきた全校児童生徒のやる気がみなぎっていました。

体育大会は、自己の力を発揮するとともに、責任感や協調性を養い、好ましい人間関係をつくる貴重な学習の機会です。体育大会では、次のような子どもたちの成長を目標としました。

- しっかり体を動かして、日々の学習で培ってきた自分の力を最大限発揮する。
- 集団での自分の役割を認識し、友達と心と力を合わせて一つの活動を創り上げる。

入場行進、開閉会式、体操、ダンスや競争遊戯、紅白に分かれての応援合戦など、これまでの練習で培ってきたものが十分発揮されていました。

最後まで自分の力を発揮して演技に取り組む姿、友だちと心と力を合わせ協力して演技に取り組もうとする姿、紅組白組それぞれが一つのチームとしてまとまって応援合戦をする姿、児童生徒会や各係として自分の役割をしっかりと果たそうとする姿など、児童生徒一人一人の頑張りと成長が感じられました。





月日をかけて積み上げてきたことが形となるまで、子どもたちは先生方とともに一歩ずつ学びを深めてきました。日々の学習の積み重ねと、そこから生まれる「できた」「やった」という達成感・充実感が伝わってくる体育大会でした。

当日は、平日にもかかわらず、たくさんの保護者・ご家族の皆様においでいただきました。交流及び共同学習でお世話になっている小・中学校の校長先生や教頭先生、やはら荘の皆様、地域自治会の皆様、小森江西市民センター館長や地域ボランティアの皆様、関係機関の皆様といった地域の方々にもご観覧いただきました。子どもたちの活躍に大きな声援を送っていただきましたご来賓・ご家族の皆様には感謝申し上げます。皆様の温かい声援のおかげで、子どもたちは見事に力を発揮することができました。子どもたちが体育大会で見せた頑張りを、これからの学校生活や将来の生活に生かしてくれることを願っています。今後とも本校教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いたします。また、体育大会の開催に当たり、多岐にわたりご協力・ご支援いただいた保護者教師会の皆様には、心より感謝申し上げます。

## ◇ボランティアの方々に、教材教具を作っていただいています

本年度、本校は、北九州市教育委員会の「市民ボランティアによる特別支援学校の教材・教具・作品づくり事業」のモデル校となりました。本事業の趣旨は、「ものづくりのまち北九州」市民の皆さんが、それぞれの特技や趣味を生かしながら、児童生徒の状態や教育的ニーズに応じた教材づくり等に関わっていただくことで、特別支援教育や「合理的配慮」に対する理解を深めていただき、共生社会の形成につなげていきたいということです。

夏季休業期間中に、9名の地域ボランティアの皆様が、大型遊具や応援団長・紅組白組団長の法被を作ってくださいました。9月3日の始業式の際には、贈呈式を行いました。その後、子どもたちと一緒に楽しく遊具を使ってくださいました。

